

(様式1)

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和3年3月5日  
江別市立上江別小学校

1 学校教育目標

「いきいき のびのび」

かんがえる子 やさしい子 げんきな子 なかよくする子

2. 今年度の重点目標

「家庭学習に毎日取り組む子」「時と場に応じた言葉遣いができる子」「みんなと外で元気よく遊ぶ子」  
「進んで誰にでもあいさつができる子」「約束やきまりを守って生活する子」

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	「進んで誰にでもあいさつができる子」 いつでも、どこでも、誰にでもあいさつできる子を育てることができたか。	B	新型コロナウイルス対策のためにこれまで行ってきた担外、児童会書記局、代表委員会による挨拶運動ができず、大声での発声も控えさせていたため進んで挨拶をする児童が昨年度よりも減ってきた。年度途中から「あいさつ」が今年度の最重点ということを経験し、全教職員と共通理解し、学級、学年では係児童による挨拶運動、担外は光のホールでの朝の挨拶、指導部では児童玄関や各教室の掲示物の作成と声かけの取り組みをそれぞれ継続したことで、自分から挨拶をする児童が増えてきた。今後も新型コロナウイルス対策をしながら、指導を継続していきたい。	B	A
	「時と場に応じた言葉遣いができる子」 人、時と場、状況を考えた言葉遣いできたか。	B	高学年では、目上の人に対する言葉遣いに気を付ける児童が多いが、低中学年になると授業中でも教師に対して友だちのように話す児童が多くみられる。あいさつ指導と同様に、その場にふさわしくない話し方をした児童に対しては、学年を問わず言い直しをさせるという意識を教師側も再確認し、担任が変わっても一貫した指導ができるようにしていきたい。	B	A

<p>「みんなで外で元気よく遊ぶ子」</p> <p>子どもたちへの声かけや全員遊びを計画的に行うことで、進んで外遊びを行っていたか。</p>	B	<p>今年度も元気に外遊びをする児童が多く、低学年の担任は安全指導も兼ねて一緒に遊ぶ姿が多く見られた。その一方、休み時間は教室で過ごす児童も固定化されている。さらに、今年度は新型コロナウイルス対策のために、これまで取り組んできた係の子を中心とした全員遊びや児童会が企画するドッジボール大会などが十分に行えず、昨年度よりは外遊びをする機会が減ってしまった。このような状況を踏まえ、C評価を付ける教職員が多かったと思われる。休み時間の運動量は減少傾向にあるが、体育の時間では今年度から①90秒間なわとびチャレンジ ②3分間走のいずれかに通年取り組んでおり、体力向上の取り組みは継続できている。新年度もマスク着用での外遊びが続くと思われるが、3密にならない全員遊びの方法などを活動部と連携しながら模索していきたい。また、体育の時間の体力の向上の取り組みも継続していきたい。</p>	B	A
<p>「約束やきまりを守って生活する子」</p> <p>きまりや約束を守る大切さを教育活動全体を通して伝えることで、きまりを守る子を育てることができたか。</p>	A	<p>児童・保護者アンケート、自己評価いずれも高い評価だった。学校生活でも概ねルールを守って、落ち着いて生活できているが、休み時間の移動の際に廊下を走ったり、玄関の扉を閉め忘れてたり、名札を付け忘れていたりしている児童も散見される。今後は学校のルールを明確にし、定期的に職員間でも児童にも確認し、定着できるようにしていきたい。</p>	A	A
<p>「家庭学習に毎日取り組む子」</p> <p>「家庭学習の手引き(学ナビ)」を活用し、保護者との共通理解を基盤とした家庭学習の習慣化を行うことができたか。</p>	B	<p>児童への指導、家庭への啓発、家庭学習強化週間の取り組みを継続しているが、自己評価ではC評価が2割だった。また、全国学力学習状況調査、児童質問紙の自校実施結果では「30分以上」で見ると、昨年度の89%から80%と低下していた。児童・保護者アンケート結果からも家庭学習の取り組みが不十分と感じている割合が増えているので、家庭学習習慣の定着が次年度に向けての大きな課題となっている。今後は、家庭学習を出せばよいのではなく、何をどれだけ取り組んだのかチェックをして助言をしたり、学級や学年内で模範となる取り組みをしている児童のノートを紹介したりして学級・学年全体の意識を向上させていきたい。</p>	B	A

テーマ・落ち着いた あるきれいな学校	<p><b>落ち着いて学校生活を過ごす子</b> 学習や生活のきまりを意識し、落ち着いた態度で学校生活を送る児童の育成ができたか。</p>	A	<p>今年度も上江別小学校のテーマを「落ち着きのあるきれいな学校」とし、教職員だけでなく全校児童にも浸透しており、落ち着いた学校生活を過ごすことができた。学習のきまりについては全校統一の学習規律を今年度整理し、「姿勢よく座ること」や「人の話をしっかり聞くこと」「教室移動の際は静かに並んで歩くこと」などについて毎月の重点を決めながら徹底してきた。学級による若干のばらつきはあるものの、上江別小学校のスタンダードとして学習規律が定着しつつある。生活面は、毎月の生活目標に沿って計画的に指導をすることができた。来年度は、学力向上係が中心となって、さらに文言や項目数を精査し、日常的に意識できるようにしていきたい。</p>	A	A
	<p><b>本をたくさん読む子</b> 読書環境を整備し、児童一人当たりの年間読書量を増やすことができたか。</p>	B	<p>今年度は、新型コロナウイルス対応のために「おはなしのへや」による読み聞かせや図書室環境の整備を行うことができなかった。また、12月以降は図書館の閉館、図書貸出と学級文庫使用の停止をしている。校内の朝読書の取り組みは、全校で足並みを揃えて一斉に実施できるよう、始まりと終わりの放送の合図を取り入れ、担任外教師も各教室を回って一緒に読書活動を行うことを継続してきた。現在は、放送委員会による放送は停止しているが、朝読書の取り組みは定着しているため、落ち着いて1日のスタートを切ることができている。来年度当初も感染対策をしながらの読書になると思われるので、児童の読書意欲を高めるためにできることは何か係と相談しながら進めていきたい。</p>	A	A
	<p><b>花壇などの環境整備に意欲を持って取り組む子</b> 花壇や教室清掃など、校内の環境を整えるため、意欲を持って活動する児童を育成できたか。</p>	A	<p>児童・保護者アンケート、自己評価いずれも高い評価だった。今年度は、臨時休業明けのため玄関前のプランターを置くことはできなかったが、花</p>	A	A

			壇は学年ごとに工夫したデザインにし、年間を通して維持することができていた。清掃活動についても昼清掃になり、1か所当たりの人数も増えたが、仕事を見つけたり、協力したりして取り組む姿が見られた。来年度も係を中心として、花壇の維持整備ができるようにしていきたい。		
	<b>自他の生命を大切にする子</b> 道徳教育や避難訓練・防犯教室、各種集会等を通して、自他の生命を大切にし、相手を思いやる心を育成できたか。	A	児童・保護者アンケート、自己評価いずれも高い評価だった。今年度は学年ごとによる分散形式の訓練や学級指導中心に、集団の規律を乱さないように行動することのほか、自分の命は自分で守ることの意識を高めることができた。各種集会については、テレビ放送や動画視聴とも関連させて、実施できる形を模索していきたい。	A	A
教育課程・学習指導	<b>確かな学力の定着</b> 授業改善推進チームとの連携を図るとともに教材研究や指導工夫改善、学習規律（話し方・聞き方等）の徹底と電子黒板、デジタル教書等のICT機器を活用した授業を行い、基礎・基本の定着が確実に行われたか。	A	今年度で3年目になる授業改善推進チームの指導と助言の成果で、ノート指導、板書の構成、発問や指示の分かりやすさ、ICTの活用などの面で改善が見られた。また、新学習指導要領の全面実施に合わせた学力向上策や新教科書の活用の仕方やICT研修なども実施し、指導力の向上を図ることができた。3年間の取り組みを通して、教員の指導力も向上し、学力の底上げがなされてきているので、次年度以降も、これまで蓄積してきた教材や指導法を共有していきたい。	A	A
	<b>教育のプロとして</b> 日常の授業作りや授業実践において、共通理解に立った実践に努め、指導力を高めることができたか。	A	学校課題の解決と教員の専門性や指導力向上のために授業改善推進チームとの連携や校内研究を進めることができた。校内研究は、例年行っている研究授業の形では行えなかったが、分散形式にするなど新型コロナウイルスの状況下でも工夫して進めることができた。次年度以降も研究テーマを具現化するために研究内容の日常的実践と互いに授業を見合う場の充実を図っていきたい。	A	A

	<p><b>新学習指導要領の確実な実施</b>          外国語活動、プログラミング教育に関わる研修を充実し、指導力を高めることはできたか。</p>	C	<p>新学習指導要領に新たに位置づけられた外国語に対応するために今年度より外国語専科が配置され、児童の学習環境はより充実することができた。プログラミング教育については、係からの情報提供や声かけによって少しずつ取り組みが進んでいる。自己評価が厳しめとなっているが、手探りの中、実践していることに対する結果と思われる。次年度以降は、担当をしていなくても外国語指導について研修する場を設けたり、プログラミング教育を計画的に進めたりできるように指導計画を改善していきたい。</p>	B	A
<p>特別支援          ・道徳教育          体力向上</p>	<p><b>豊かな心・健やかな体の育成</b>          道徳教育を基盤とした基本的な生活習慣の徹底と日常の教育実践における児童理解、担任を中心とする教育相談体制の確立、ならびに子どもたちの体力増進に向けた取り組みはできたか。</p>	A	<p>昨年度まで研究教科となっていた道徳の成果を生かしていくために、教務研修や職員室通信を活用して情報発信を行ってきた。しかし、以前よりも研修の場が減ってしまったため、学級間での実践に開きが出た一面もあった。今後も道徳推進教師を中心として情報提供や研修の場の設定を行い、道徳指導の充実を図っていききたい。教育相談に関しては、担外の情報交流を基に随時ケース会議や教育相談を行い、学力面や生活面で困難を抱えている児童や家庭のケアを行うことができた。また、必要に応じ、心の教室相談員・養護教諭・SSW等とも連携を図ることができた。体力増進に向けた取り組みとしては、体力向上に関する共通の取り組みを整備し、年間を通して進めることができた。今後も教職員間、外部機関との連携を密にして、問題の早期発見・早期対応に努めていきたい。</p>	A	A

生徒指導	<p><b>支持的風土の学年・学級づくり</b> 一人ひとりの良さを見つけ、認め、伸ばし、お互いに認め合う学年・学級づくりができたか。また、子ども達が主体となる活動を学習や行事の場面で多く設定し、自己有用感に裏付けられた自尊感情を育成する事ができたか。</p>	<p>A 基盤となる学級経営の充実を図りながら、それぞれが「学年経営の視点」をもち、新型肺炎対応を意識しながら合同での学習や指導の協力、行事の活動などを通して、その学年で身につけたい力を育てることができた。日常の児童観察の他「学習生活アンケート」「いじめアンケート」などのアンケートを活用すると共に、学年学級経営案の中間反省を行い、その都度進捗状況も確認することができた。今後は、研修の場で、事例研究などを行い、よりよい学級経営の方策を共有できるようにしていきたい。また、次年度に向けて、児童・保護者アンケートの結果をそれぞれ分析し、課題を積み残さない状態で次学年に引き継げるようにしていきたい。</p>	A	A
	<p><b>「安心」「安全」の確立</b> 問題行動の早期発見と早期指導、いじめへの毅然とした対応と指導の推進（いじめ防止基本方針共通理解）、道徳教育の充実等、全教職員相互の協力体制のもと指導することができたか。</p>	<p>A 年2回のいじめアンケート、担外の情報交流、日々の教室訪問、日頃の情報共有、教育相談や、ケース会議によって困り感のある児童に組織的かつ迅速な対応をすることができた。引き続き、本校の「いじめ防止基本方針」に則り、組織的に指導に当たっていききたい。また、情報モラルアンケートでは、スマホの使用時間と生活習慣の乱れや学習時間が関係していることが明らかになったので、今後指導部と連携して児童や保護者にどのように問題提起していくか検討していきたい。</p>	A	A
保護者 地域住民との連携	<p><b>地域・家庭との連携と情報の発信</b> 地域や保護者、幼保中との極め細かな連絡・相談・連携と各種通信・HPによる学校の取り組みの情報提供が充分にできたか。</p>	<p>B 今年度は、えべつ型コミュニティ・スクールを集合形式で一度しか実施できなかったため、新型肺炎の感染が収束していない状況下でも情報交流できる方法を模索していきたい。また、HPを教員全員が編集できるものに変更したので学年ごとに更新できる枠組みも作っていききたい。学校・学年便りは子ども達の様子が伝わる内</p>	B	A

		<p>容を心がけ作成し、地域自治会にも回覧して頂いている。保護者との連携手段の一つとして、メール配信サービス(まちコミメール)を行っているが、ほとんどの家庭が登録(登録率99%)しており、学級閉鎖や、不審者情報、旅行的行事の帰校時刻、新型コロナウイルスに関わる連絡等、保護者へお知らせしたい内容を発信している。今後も「まちコミメール」の活用を継続していきたい。</p>		
--	--	--	--	--

**【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】**

- ・ 新型コロナウイルスの感染が拡大している中で、対策を考えて学校運営をされている先生方に感謝致します。
- ・ 今年度、とても大変な年だったと思います。その中で変更を余儀なくされたり、継続したりと臨機応変に対応され、児童や保護者、教職員の皆さん頑張っていました。本当にお疲れ様でした。次年度もより良い上江小であるよう、見守らせて頂ければと思います。
- ・ 新型コロナウイルス対策の面から教育目標を推進するには、極めて苦勞されておられると存じますが、児童の明るい元気な声を耳にしますと諸先生の指導の賜物と心より安堵しております。改めて感謝申し上げますとともに、改善策の推進をよろしくお願い致します。
- ・ 今年度は学校の新しい生活様式の中で対策を行いながら教育活動をすすめ、休校もありましたので学校長はじめ職員の皆様のご苦勞をお察し致します。新学習指導要領が全面実施され、評価項目2点追加し、16項目の評価で「きまり」については一番高い数となり良かったと思います。Cを付けられていた項目は次へのステップと考えて研修や指導へつながっていくものと思っております。上江別小学校の児童は外遊びをする子が多いと思いますが、遊具を使わずに楽しく体を使っての活動ができる環境の工夫も必要だと思います。築山はスキー学習以外で使えるなら米袋で山滑り、雪上サッカーなどもあります。卒業式、修了式まで新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎など児童はもちろん、職員の皆様もどうぞ健康に留意されてお過ごし下さい。

【評点】 A：よい      B：おおむねよい      C：ややよくない      D：よくない